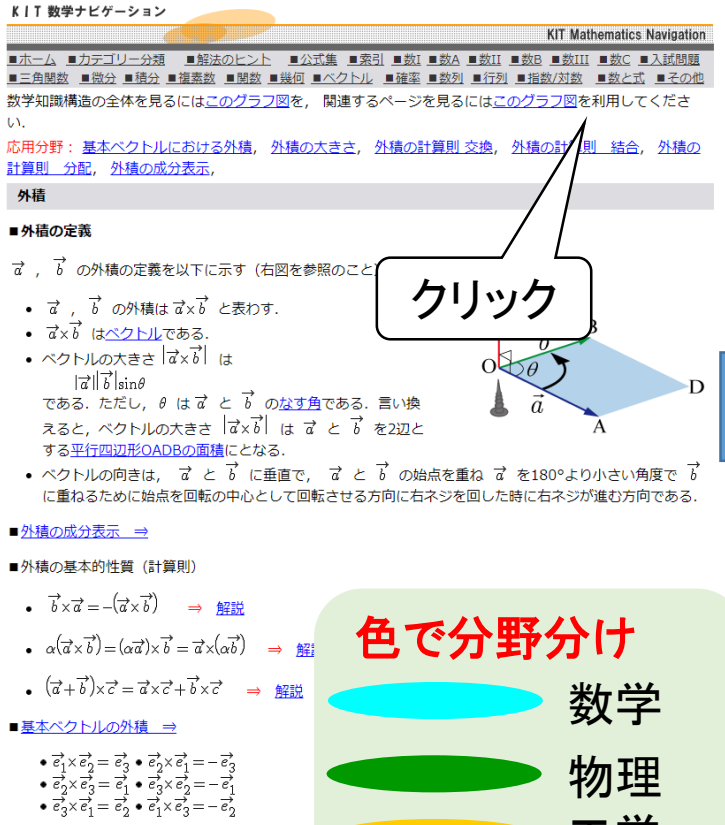
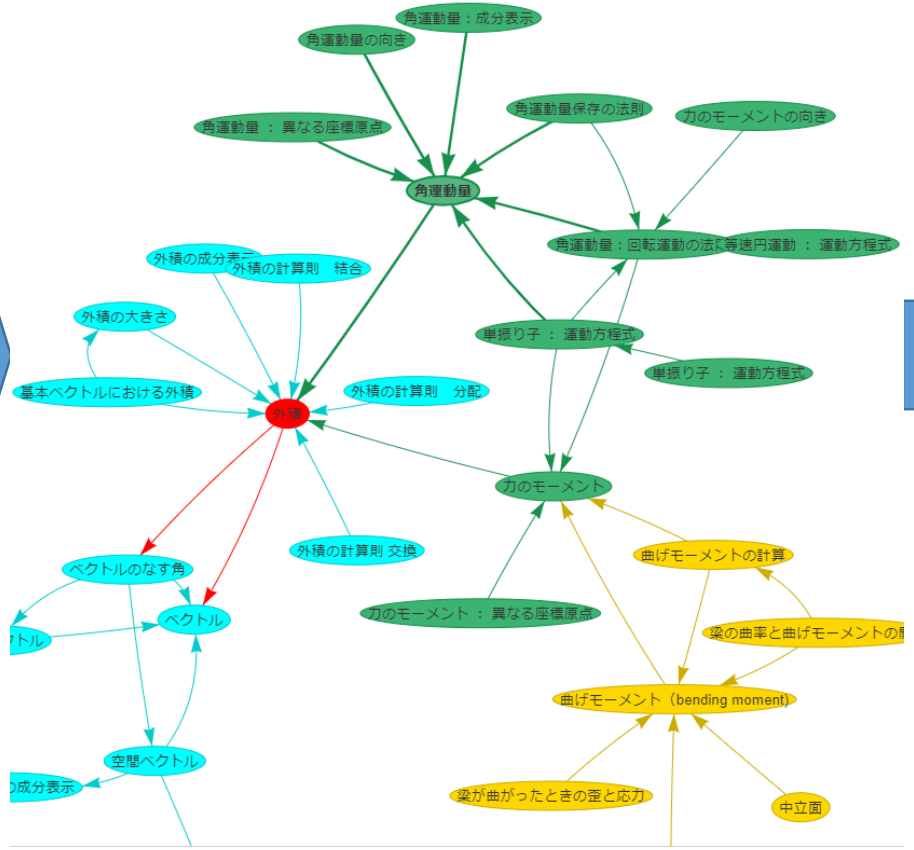
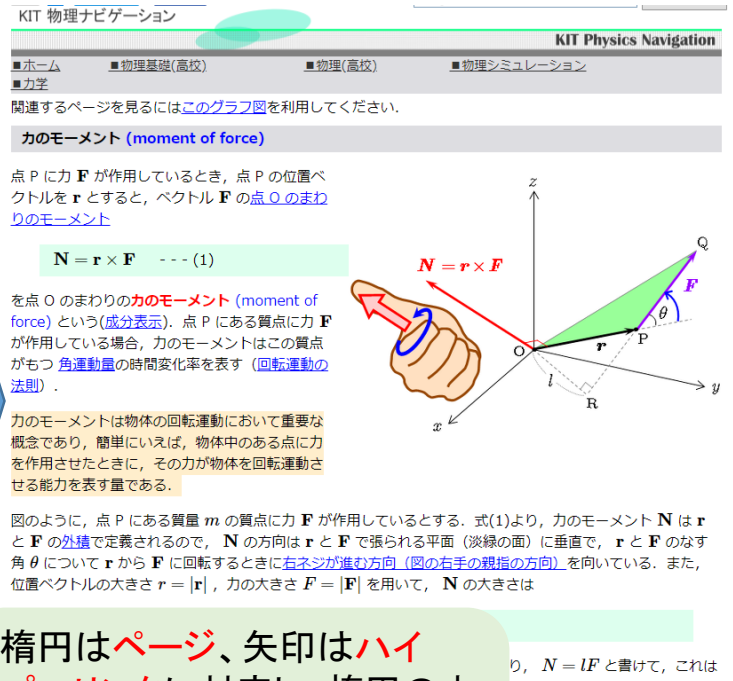
ネットワークグラフを用いた数理工統合教育環境「KIT-STEMナビゲーション」の構築

金沢工業大学　数理工教育研究センターチーム名：KIT-STEMナビゲーション

2004年からKIT数学ナビゲーションを開発からスタートし、2015年からKIT物理ナビゲーション、2017年からKIT工学ナビゲーションの開発も行っている。これらのウェブサイトを統合した。インターネット上に一般公開をしており、多いときでは1日当たり1万人以上が利用している。学習しているページを中心（赤色）としたグラフ図を用いて関連ページの相互関係、すなわち、近隣の知識構造を可視化したナビゲーション機能を新たに開発したる。ページ上部をクリックするとグラフ図が表示される。グラフ図のノード（ページタイトルが書かれている楕円）をクリックすると、対応するウェブページが表示される。この新機能により、数学、物理、工学の関連も一目で確認することができ、効率よく幅広く深く学習することが可能となる。その他いろいろな活用方法が考えられる。







色で分野分け

- 数学
- 物理
- 工学

楕円はページ、矢印はハイパーリンクに対応し、楕円の中にページタイトルが記載されている。直感的に知識構造を把握することができる

スマホでアクセス

http://w3e.kanazawa-it.ac.jp/math/cgi-bin/graph/graph.cgi?node=/math/category/vector/gaiseki.html